



バリ チャレンジ
ユニバーシティ 2018

Bari Challenge University

REPORT

今治市・しまなみ海道から発信するインキュベーションプログラム



主催者挨拶



名誉学長
今治市長 菅 良二

3年目となるバリチャレンジユニバーシティ(以下BCU)は新たな取組としてテーマに沿ったフィールドワークを取り入れ、今治の魅力を体験して頂きました。また昨年に引き続き、各グループの議論を円滑に進めるために市内企業から推薦いただいた若手社員の方々にもファシリテーターとしてご参加いただきました。

今年のBCUが盛会のうちに開催することができましたのも、ご多忙中のなか参加していただいた岡田学長やアドバイザーボードメンバーをはじめ、実行委員会や運営スタッフとしてご支援して頂いた皆様のおかげです。深く感謝申し上げます。

これからも今治から発信するBCU事業が今後ますます発展していくことを期待しますとともに、卒業生の皆様にはBCUでの経験を活かして、それぞれの夢に向かってチャレンジを続けてほしいと思います。



学長
FC今治オーナー 岡田 武史

「岡田さん、来年もまた来るから！」

今年で3回目の開催を迎えたBari Challenge University。これは、今年の卒業式が終わった後に、アドバイザーボードの方々から頂いた言葉でした。日本、いや世界でも数あるワークショップを経験されているメンバーのこの言葉が、BCUがどれだけ素晴らしいものであったかを物語っています。

実は私の中で、今回のBCUの開催を危ぶんだ時期がありました。あまりにもボランティアでの稼働に依存する部分が大いからでした。しかし、今治市役所をはじめとした今治の人たちが「何としても続けたい」という熱意で、規模は縮小はしましたが、なんとか開催できました。その結果が冒頭の言葉です。

この言葉を聞いた時、私の中でBCUの活動を永続的に続ける腹が決まりました。

何より、この短期間で苦しみ考え抜いて、若者が一皮も二皮もむけた成長した姿を見せてくれた。そしてその姿に我々自身が勇気とパワーをもらえるBCU。やるしかないだろうと背中を押してくれました。

特に今年は、心の底から実現したいと思わせる発表もあり、現実にも活動を続けています。またBCUの1期生/2期生もサポートに駆けつけてくれたり、BCUの運営をやりたいという若者が現れたり、BCUそのものも進化し始めています。将来的にBCUに通ったことが、ブランドになるぐらいになって欲しいと思っています。

最後に、市役所のみなさん、地元の有志、そしてスポンサーをはじめとする企業の方々、ボランティアで頑張ってくださった仲間、アドバイザーボード、誰がいなくても成り立たなかった。ありがとう!!



実行委員長
公益社団法人 今治青年会議所 理事長 山岡 太郎

この度は第3回目となるBCUに多くの方々に参加していただきありがとうございました。

参加された皆様の積極的な姿勢や白熱した議論、そして様々なアイデアに感銘を受けました。今回の経験を機にさらなる自己成長へつなげていただけると幸いです。

私も皆様に負けぬよう、自己変革・自己成長を目指して参ります！

また、運営面では多々至らぬ点があったと思いますが、ご支援いただいたスポンサーの皆様、協力して下さった各種団体の皆様のおかげで無事に開催することができました。改めて感謝申し上げます。

最後に、BCUに携わって全ての皆様に再度感謝を申し上げます。ありがとうございました！

開催概要

主催/バリチャレンジユニバーシティ実行委員会
会期/2018年8月17日(金)~19日(日)

場所/みなと交流センター

参加人数/BCU受講生55名

(社会人8名/大学生29名/高校生10名)

(ファシリテーター8名)

参加料/無料

参加資格/県内外の学生・若者・社会人

スケジュール

8月17日(金)

12:00~ 受付

13:00~ 入学式

13:30~ フィールドワーク

(しまなみサイクリング)

(ありがとうサービス・夢スタジアム® 見学)

16:30~ ワークショップ

19:00~ 懇親会

20:30~ 帰宅/宿舎移動

8月18日(土)

9:00~ ワークショップ/昼食

15:00~ 中間発表

16:30~ ワークショップ/夕食

21:30~ 帰宅/宿舎移動

8月19日(日)

9:00~ ワークショップ

11:30~ 発表準備/昼食

12:30~ 最終発表

13:45~ 投票/集計

14:15~ 基調講演

FC今治アドバイザーボードメンバー
田坂広志氏

演題「未来を拓く君たちへーなぜ、我々は「志」を抱いて生きるのかー」

15:15~ 表彰式/卒業式

16:30~ 解散

テーマ

BCU のビジョン

次世代を担う若者が、新たな夢や目標に共に挑戦する仲間や方法に出会う場所

2018年のテーマ

スポーツの力でどうやって活気に満ち人が集まってくる街にするか

実行委員会組織体制

名誉学長／菅 良二 今治市長
学 長／岡田 武史 株式会社 今治・夢スポーツ 代表取締役会長

実行委員会

実行委員長／山岡 太郎 公益社団法人 今治青年会議所 理事長
副委員長／矢野 将文 株式会社 今治・夢スポーツ 代表取締役社長
監 事／別府 孝也 株式会社 伊予銀行 今治支店支店長
委 員／宇野 一世 今治商工会議所 青年部 会長
金尾 憲明 今治商工会議所 企画・指導課課長
菅 森実 瀬戸内しまのわユース 事務局長(会計兼務)
菅 宏司 かすがいジャパン株式会社 代表取締役社長
友田 康貴 NPO法人 今治シビックプライドセンター 代表理事
野間 照博 公益社団法人 今治法人会 青年部会 部会長
松田 交志 愛媛県東予地方局今治支局 総務県民室長兼商工観光室長
安井 孝 今治市産業部長



後 援

今治商店街協同組合
公益社団法人 今治地方観光協会
公益社団法人 今治法人会
愛媛大学社会共創学部



FC 今治アドバイザーボードメンバー



代表
多摩大学大学院教授
田坂 広志

小生の最後の講演でも伝えましたが、このBCUがめざしているのは、今治地域の地域起こしを通じて、全国各地の地域起こしのモデルを創出すること、そして、その活動を通じて、日本の未来を切り拓く「若きチャレンジャー」を育成することです。BCUには、高校生から社会人まで、全国から志を抱いた人材が集まっていますが、我々の夢は、この今治BCUが起点となり、全国各地から無数の「変革リーダー」が生まれ、それらの人材が、この日本の、そして世界の変革に取り組む時代を切り拓くことです。この時代に、この日本に生まれたということは、世界77億の人々の中でも、最も恵まれた人間として生を享けたことを意味しています。その自覚と感謝を、志と使命感へと昇華し、これからの人生を歩まれることを。



サイボウズ株式会社
代表取締役社長
青野 慶久

3度目の開催は、序盤の進捗が思わしくなく、ハラハラしておりましたが、終わってみれば今までで一番、学生の成長を感じられたBCUとなりました。運営に関わったみなさま、お疲れ様でした。これからのBCUには、さらに一歩踏み込んだ「実践」を期待しております。BCUで出たアイデアをぜひ実践フェーズに移していきましょう。私たちアドバイザーボードも最大限協力いたします。閉塞感のある日本において、次世代を担う若者たちが知恵を絞り出し、社会を変えて行く一つの流れになればと、今後にも大きく期待しております。



株式会社FINC
代表取締役副社長
CFO 兼 CSO
小泉 泰郎

学生についてはいつもながら学びの多いとても良い機会だったと思います。普段と違う人たちと接し、色々な視点を学べることの大切さを知ってもらえたらと思います。プログラムについては今回はしなみを自転車でも渡ったりして導入部分は良かったと思う一方で、前半はスローな展開だったと思います。後半は良い展開になっていくつか面白いプロジェクトが出てきたので、やはり3年やってきて蓄積が出てきたのかなと思います。初回から申し上げていますが、海外の視点が弱すぎます。今週も天津ダボス会議に参加して、全員が英語、一部中国語での通訳という現実を見ていると、BCUの取り組みがさらに発展するためには参加者、オーガナイザーの多様性を上げる必要があると強く感じています。



建築家
鈴木エドワード

今年のBCUのテーマは去年と比べても現実味のある、そして具体性のある「スポーツを通して今治をどう元気に出来るか」というテーマで大変良かったと思います。恒例ですが、中間発表ではリアリティーのある提案が少ないものの、いざ本番になると「これでもか」という具体性に富んだ提案が相変わらず多く、嬉しいばかりでした。

今年は比較的人数が抑えられ、的を絞ったワークショップに貢献出来たのではないかと感じました。一つ残念だったのは、そして今後の事務局の課題として考慮していただきたいのは外国人参加者がいなかった、という点です。やはり今治は造船業が盛んな街で、間接的に世界と大いにつながっている場所です。この特性を生かし、もう少し国際色豊かな参加者を交え、シナジー効果を上げ、その結果世界平和にいずれ貢献できるBCUであって欲しい、と願います。



東京大学教授
鈴木 寛

例年以上に、学生・生徒共に活気のある議論を繰り広げており、盛況でした。具体的な課題を自分ごととして考え、コラボレーティブに解決策を探っていくことは、不確実な時代を生き抜いていく上で必須だと感じています。今後BCUの参加者が社会の担い手となっていくことを、楽しみにしています。



MN&Associates 代表
申島正樹

今年も学生たちが3日間の議論に注ぎ込んだ熱量は凄まじく、素晴らしいプランがいくつも生まれました。私も感動と大きな刺激をもらいました。ワークショップを通じて全員が、個人の意見の対立を超えてアイデアを一段高いレベルにまとめ上げる＜チームの原風景＞を胸に刻んだことと思います。また、単に「街をにぎやかにする」という発想を超えた、「地域の高校を何とか存続させたい」といったコミュニティへの提案は、最終発表を聞くために集まった多くの参加者の＜心＞に届きました。今後もBCUが、志を抱く若者たちが「社会課題を解決するには？」と知恵を絞り、「今治から世界へ」と飛び立つ取り組みの＜起点＞となることを強く期待します。私も引き続き応援します。



ツツクタンク・
ツファイババンク代表
藤沢久美

毎年、BCUに参加して、学生たちの目覚ましい成長に、胸が熱くなる。初めて出会った学生たちが、いつもとは違う環境で、自己主張したり、戸惑ったり、ふてくされたり、様々な表情を見せながら、チームの仲間と一丸となって、輝いていく姿は、眩しい。たった一晩で、見違えるほどに成長した学生たちには、ずっと今治との縁を繋ぎ続けて欲しい。そして、BCUでの悔しさや喜びをずっと忘れないでいてほしい。いつか、BCU卒業生たちのネットワークが、国を動かすネットワークになっている日を夢見ている。



早稲田大学
スポーツ科学学術院教授
博士（スポーツ科学）
間野義之

2019・2020・2021と世界のビッグスポーツイベントが世界で初めて同一国で連続開催されるゴールデン・スポーツ・イヤーズを迎えるなか、スポーツによる地方創生は絶好のチャンスとなります。

今回の提案の多くは、スポーツをラテン語の語源であるデポルターレである「気晴らし」と捉えて気球からeスポーツまで、ユニークなプロジェクトが発案されました。各チームが、デポルターレによる社会課題解決を地域の活性化につなげる思考を試みた事は、特筆に値します。

2024年パリ大会では、ユネスセンターを立ち上げて、アスリート×若者×テクノロジーで3ゼロ（失業、貧困、炭素排出量）の達成を目指しています。

今後のBCUでも具体的なKPIの設定も検討してみたいと思います。



株式会社日本総合研究所
主席研究員
藻谷浩介

参加の学生諸君、スタッフの皆様、たいへんにお疲れ様でした！
今回私は、最終日の最終発表会のみに参加したため、昨年に比べて発表内容がぐんと良くなっていることに驚いたのです。何をやるのがより具体的で、地域の活性化にどうつなげるのかという意識も昨年よりは高く、それから何よりも各グループ内の地元高校生が生き生きとしていました。高校生も立派だし、彼らを前に出すように仕向けた大学生側も立派でした。そして、前の晩までは著しく出来が悪かったのだという話を聞いて、二度驚くことになりました。内容一新を実現させた岡田オーナーとアドバイザー各位（私以外）の指導力に、深く敬意を表します。来年も楽しみにしております。



NPO法人ETIC、代表理事
宮城治男

BCUは、若者たちが思いをもって集い、学び、考え、刺激しあい、そしてあらたな行動を起こしていく、まさにこれからの大学のあり方を示していくような場に育ってきていると思います。そして、今年はさらに今治の地域のみなさまも積極的に参画くださり、若者と地域が繋がり、希望と変革を生み出していく、地方創生のあらたなモデルにもなりつつあると思います。みなさんもここでの出会い、気づきを大切にして、BCU卒業生としての誇りをもって、どんどん自分なりの挑戦をし続けてください。ご活躍を期待しています。

ファシリテーター紹介



A 班

旅館さわかき
菅 航輝



B 班

浅川造船株式会社
浅海 悠人



C 班

IKEUCHI ORGANIC 株式会社
田畑 友也



D 班

島根大学 (BCU2017 OB)
大山 哲矢



E 班

株式会社伊予銀行
高橋 裕一



F 班

渦潮電機株式会社
四位 智之



G 班

リアラン株式会社
岡田 奈々絵



H 班

Sil's Vous Plate 洋菓子店 (BCU2017 OB)
矢野 弘幸

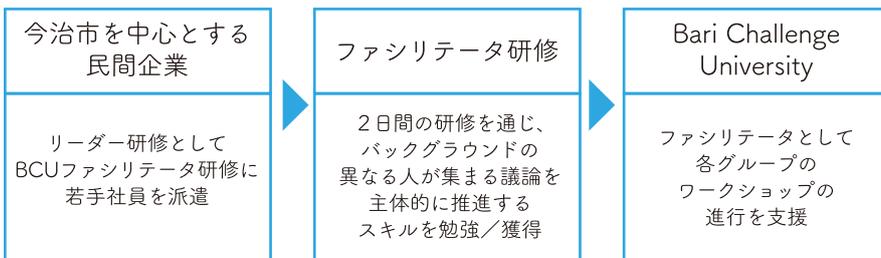


ファシリテーター研修

日 時 / 2018年7月28日(土)29日(日)
場 所 / 公益社団法人 今治青年会議所 事務局

地元企業を中心とした若手社会人にファシリテータ役を任せ、BCUで培ったスキルを各企業へ還元する仕組みをつくりだします

ファシリテーターの役割とは



ファシリテータ研修およびBCUを通じて得た経験
スキルを所属企業に還元

フィールドワーク

しまなみサイクリング

日 時／2018年8月17日(金)14:00～15:20

場 所／今治市サイクリングターミナル サンライズ糸山

⇒しまなみ海道(サイクリング)⇒道の駅 よしうみいきいき館

参加者／名誉学長・学長・アドバイザーリーボードメンバー・BCU受講生・BCU OB学生 ほか



ありがとうサービス.夢スタジアム® 見学

日 時／2018年8月17日(金)15:35～16:15

場 所／ありがとうサービス.夢スタジアム®

参加者／学長・アドバイザーリーボードメンバー・BCU受講生・BCU OB学生 ほか

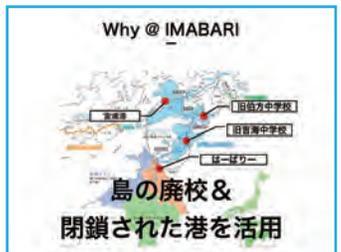
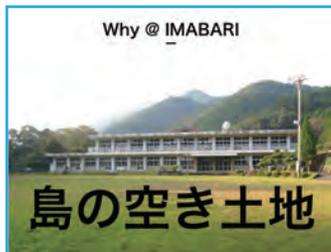
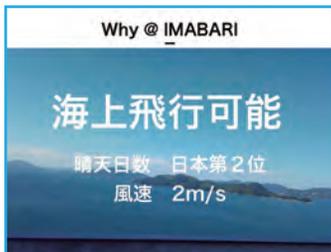
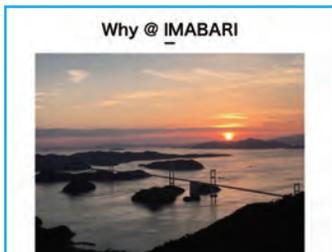
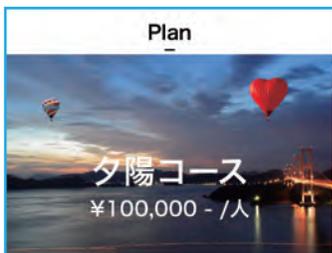


A班 チームα

ファシリテーター 菅 航輝
北本優葉・久保天希・鈴木伸・野水愛・山崎友雅



テーマ KIKYU



チームα



B班 ハッピーターン

ファシリテーター 浅海 悠人
池井 大貴・小野 裕之・須戸 菜月・西村 萌・増田 雄太・山岡 政史

テーマ : #C' mon baby 伯方



伯方島
海上スポーツパーク

今治の海

砂浜

落とせっ！！

落とせっ！！
落とせっ！！

落とせっ！！
落とせっ！！
落とせっ！！

グランピング

今日の企画への思い

伯方高校

縮小

今治市

今日の企画への思い

タノコ 渋谷 雨にぶつかってくる
臭い 人目を気にす
東京 急いでいる
人混み 空気
繁華街 死んだ目をしてる
ゴミが多い

「知らないから、来ない」人に、「知ってもらい、来てもらう」

キックケを翻る

モノと情報

僕らの一歩は、
写真一枚から

伯方が持っている、
生の自然・新鮮な自然を
体感してほしい。

体感することで、
感動し、
共有する。



ハッピーターン

C班 バリスト

ファシリテーター 田畑 友也

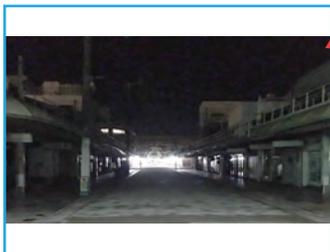
熊谷明奈・鈴木郁美・武田菜奈・橘穰・根崎伶司・宗近昌彦

テーマ シャッター街×B級スポーツ

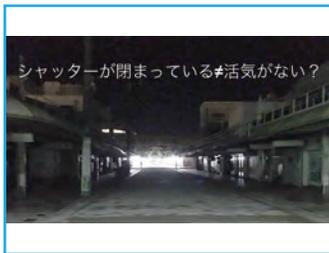
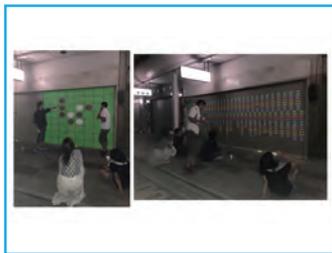
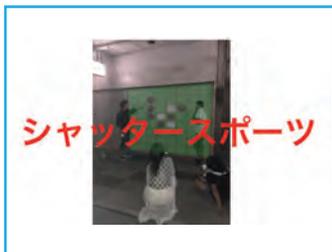
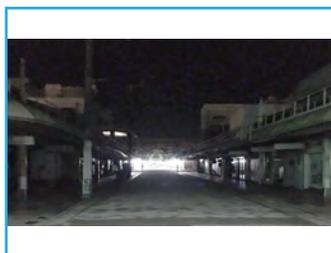


“スポーツの力で
どうやって活気に満ち
人が集まってくる街にするか”

チーム バリスト



シャッター街×B級スポーツ



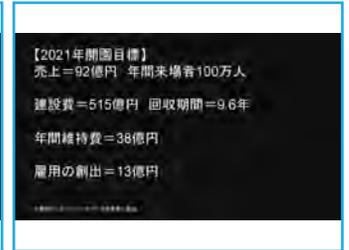
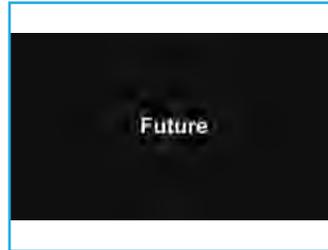
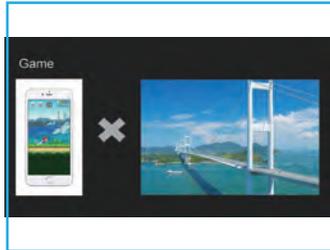
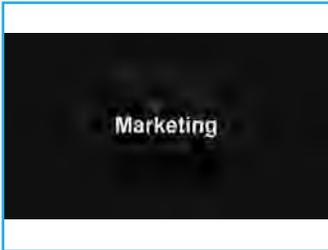
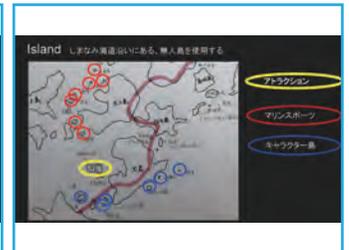
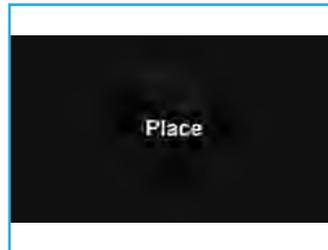
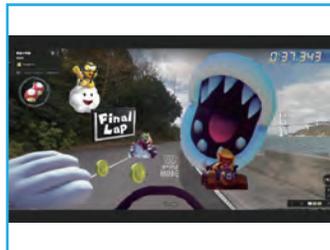
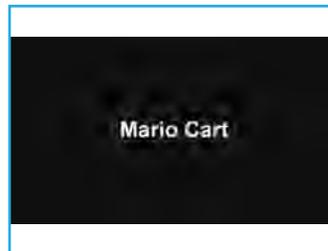
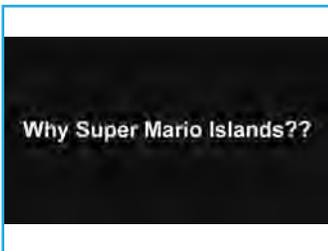
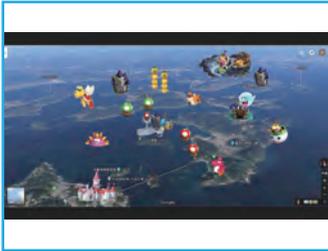
バリスト

D班 Destiny

ファシリテーター 大山 哲矢
井手瑠夏・川勝壮馬・河本直希・齋藤優里・鈴木涼平・森実夏海

テーマ SHIMANAMI SUPER MARIO ISLANDS

サイボウズ賞

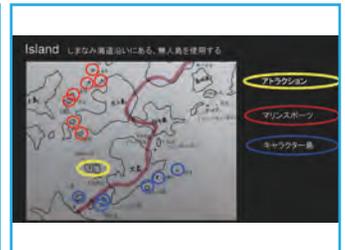
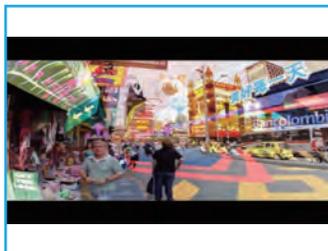
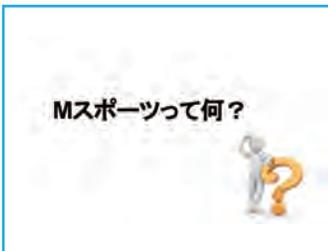


Destiny

E班 ドM

ファシリテーター 高橋 裕一
伊勢采萌子・稲田慎之介・伊富貴直也・才野陽平
永井孝平・吉田有理沙

テーマ Mスポーツ発祥の街 今治



ドM

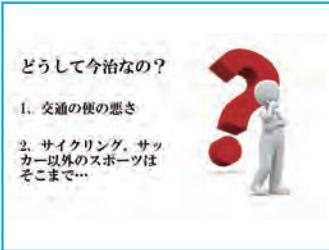
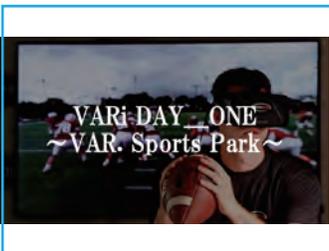
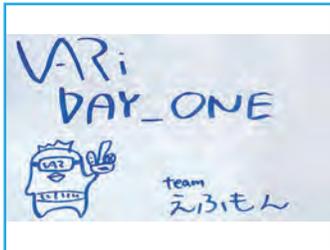
F 班

team えふもん

ファシリテーター 四位 智之

荒郁弥・大塚圭・杉本奈穂・高橋知里・平田雄大・福本駿

テーマ VARI DAY__ONE



team えふもん

G 班

ODAGAFIT

ファシリテーター 岡田 奈々絵

安藤航・牛川沙耶・瀬見井佐和子・馬場優汰・原田圭・村上翔

テーマ タンクトップとタイトの街～努力は必ず報われる～
(憧れの人に会えるっ！)



タンクトップと
タイトの街

～努力は必ず報われる
(憧れの人に会えるっ！)～

1.私たちがやりたいこと

- ① クロスフィットの聖地化
- ② 本気で頑張る人を
応援する街にする

2.クロスフィットの聖地



2.クロスフィットの聖地

～織田ヶ浜～



2.クロスフィットの聖地

憧れの人って...??



3.聖地化のために何をするか?

- ◆クロスフィットの聖地、織田ヶ浜を中心に
今治市内にジムを配置
- ◆それぞれのジムをランク付けし
レベルアップできる。

3.聖地化のために何をするか?

ポケモンに言い換えると...

- ・織田ヶ浜でトレーニングする
= 殿堂入り
- ・今治市内のジム
= ジムトレーナー

3.聖地化のために何をするか?

ポケモンにおける経験値
= Bariポイント

専用のアプリをインストールして、
ポイントを貯めるとレベルアップ。

4.本気で頑張る人を応援する

Bariポイントを貯める

今治市内で自転車を
漕いで移動

筋力の負荷によって
ポイントゲット

今治市内の取扱店で
買い物

市外から課金

4.本気で頑張る人を応援する

Bariポイントが貯まると...

筋トレ
&
サイクリングで
憧れの人と会おう!!

4.本気で頑張る人を応援する

応援グッズ

今治タオル

今治ささみ

今治プロテイン

4.本気で頑張る人を応援する

地域が活性化する。

自転車
買い物

筋トレ

市外から課金

一本気で頑張る人を
応援する街、今治



ODAGAFIT

H班 チーム鶴姫

ファシリテーター 矢野 弘幸

澤田 昂一郎・清水 玲奈・徳 永拓也・二宮 弘樹・萩原 雅之・長谷部 澤花

テーマ ママさんJKが学校を救う!?

名誉学長賞



ママさんJKが学校を救う!?

チーム・戦策

今治北大三島分校
↓
来年31人以上入学させたい!!

妊娠してやむを得ず退学したママに入学してもらおう

島一体となって子育てを支援する学校づくり

①大三島分校のカリキュラム
②島の施設・住居
③島民の関係性

①大三島分校のカリキュラム

- こどもの発達と保育、保育実習
→子育てのノウハウ、保育の社会問題を学べる
- 商業科目がある
→将来のキャリア形成(資格取得)

①大三島分校のカリキュラム

- フードデザイン、調理講習会
→料理上達(三枚おろしetc...)
- 体育でマリンスポーツ!!
→ママの楽しみ

②施設・住居

- 子育てサロン
→家族ぐるみの交流が生まれる場所
- 定年している先生&保育士が児童クラブを運営
→子どもを気にせず仕事ができる
- 子育てに必要な施設が集中している(学校・病院・保育所・市役所・スーパー etc...)

半径300M以内に生活に必要なすべてが揃う

②施設・住居

- 伊東豊雄建築塾との連携(島デザイン部)
→住居のサポートができる

伊藤豊雄氏 清水

③島民の関係性

- だいたい知り合いでおせっかいなくらい親切
→家庭の状況を共有できる、困ったときに頼れる
- 町内放送で島全員に声を届けられる
→赤ちゃんが生まれる&誕生日を周知
- 情報を伝達するツールでスマホを利用

この情報をママさんJKに届ける

- あいテレビ
- Youtube
- パンフレット(全国中高・産婦人科)
- 説明会

妊娠してやむを得ず退学したママが大三島分校では笑顔で卒業できる



チーム鶴姫

Bari
Challenge
University
バリ チャレンジユニバーシティ

Bari
Challenge
University

参加者アンケート

BCUを通じてどのような学びがあり、それをあなた自身の今後の進路や人生でどのように活かして行きたいか、今の素直な気持ちを教えてください。

いつしか夢ややりたい事に対して、現実的な部分を見がちで「これはできない」と自分で自分の限界を決めてしまっている事が多くなっていました。しかし、今回のBCUで夢を描くこと、話すことがこんなにも楽しく、ワクワクするものだという事に改めて気付くことができました。できる、できないではなく、できる(やる!)を前提にそれを実現していくにはこの問題点から潰していけば良いかや、想いを発信していくということなどをやっていきたいです。この3日間で同じような想いを抱く人、応援したいと思う人、刺激を与えてくださった人など、たくさんの方に出会うことができました。このような機会に参加することができ、本当に良かったと思っています。今後もまた、なんらかの形でお手伝いなどできることがありましたら是非ご協力させていただきたいです。本当にありがとうございました。

BCUを通じて学んだことは大きく2つある。ひとつは、多様な人々と密度の高い時間を過ごすことの面白さである。BCUに参加することで、普段自分が接するコミュニティの人とは全く異なる人とコミュニケーションを取ることができた。しかも、単にコミュニケーションを取るだけでなく、グループワークで目標に向かって努力する過程を共にし、とことん頭を絞って考え抜く経験ができた。その結果、自分とは違った視点に気づくことができたり、自分の考え方についてより深く知ることができたりした。これは普段の自分の生活の中ではあまり経験できないことであり、今後もこのような機会を見つけて積極的に参加し、物事を様々な視点から見られるようにしたい。もうひとつは、本気になって物事に取り組むことの難しさである。岡田さんは「本気を舐めるなよ」とおっしゃっていたが、本当にその通りだと感じた。本気になって必死に何かに取り組むにはすごくエネルギーが必要だとつくづく感じる。普段からそのように生活していければと思うが、常にエンジンをふかしているようなものでとても難しい。そのため、今後は普段の生活の中で本気になれる時間を少しずつ伸ばしていきたい。そうすれば物事との向き合い方や時間の使い方が変わってくると思うし、より生産的/効率的に社会に貢献できると思う。田坂さんも講演の中でおっしゃっていたが、それが恵まれた者としての宿命に感じる。BCUの運営に関わっていただいた全ての方々に感謝したい。このような取り組みに多くの人々が共感して集まってくることが岡田さん、FC今治、そして今治の方々の優位性だと思うので、私がいうのもなんだが大切にしていきたいと思う。ぜひ継続的に開催してほしい。そして、私もクラブの垣根(?)を超えて、今後も継続的に関わっていきたい。

直感(ワクワク、ドキドキ)や想いの大切さ。また、それを言葉にする力。実際にチャレンジする姿勢。人を動かすのは論理的な部分ではなく、そういった気持ちや姿勢などであることを強く感じました。やって楽しかったで終わらせるにはありあまる感動と楽しさをいただきました。チャレンジします!とにかく、最高の取り組みであることは間違いありません!運営に携わられた方々ほんとうにありがとうございました。全体についてですが3日間という時間と日にち設定がもどかしいと感じました。最終発表のあと、各々感想を言い合う間も無く解散となってしまい心残りです。(後ほどラインで言い合いましたが)また、余談になりますが大室教授のRELEASEやsilkといった、活動があるのでぜひコラボして欲しいとおもいました。(こちらのほうがビジネス寄りですが)

普段できない体験をさせていただく機会になりました。この今治市だけでの問題を考えただけで沢山の問題が出てきました。僕は大学で経済学を学びたいと思っていてこの機会を通して自分の住んでいた地域を活性化させるにはどうすれば良いかをもっとくわしく学びたいと強く思いました。このような素晴らしいプロジェクトに参加させていただきありがとうございました。今後も長く続いてほしいなと思いました。僕も今後はOBとしてサポートできることはしたいと思いました。

今回参加して良かったと思えることは夢を語ることの大切さを学んだことです。日本教育として今まで学んできたことによって私たちの考え方が制限されていることを知り、今のままではいけないと強く感じました。またチームの人の夢に触れて、自分の夢と向き合い、夢一步近づくための挑戦をすべきことを学びました。今回学んだ多くのことを持ち帰り、大学の研究としてさらに地域活性化活動をしていきたいです。今回BCUに参加して、人に訴える言葉やプレゼンをするには、自分がどのような思いを持っているかが大切だとわかりました。同じように未来の日本の地域について考えている同士たちと出会うことが出来て良かったです。この活動がさらに広まり、日本の地域についてたくさんの人が考えられるといいと思います。

自分のやりたいことを貫くことの大切さを改めて学ぶことができました。また班のメンバーから参加者、BCU関係者の方々とのお会いを大切にしていきたいと思えました。将来の進路としてスポーツとまちづくりや活性化という面で自分は興味があったので今回のBCUで学んだことを活かしていきたいです。来年は運営側でBCUに参加しようと思えました。今回貴重な経験をさせていただいたのでBCUに恩返ししたいと考えています。若者や学生がアイデアをだしやすい環境や交流や出会いをより良く深められるBCUにしたいと考えています。

夢や人の想いには人の心を動かす力があるということや、ファシリテーターの難しさを学びました。仕事では勿論ですが、日常生活でも心に置いて生かして行きたいです。今回初めてファシリテーターとして参加させていただいて、参加者の方の熱意やワークショップでの発想力や経験値に驚かされました。自分の中での課題が出来、他のファシリテーターの話を知っているとまた別の課題があり、色々な人がいる中どのように進めて行くのか、とても難しく感じました。また、アドバイザリーボードの方の話を知って、いかに自分が勉強不足で狭い世界しか見ていないか、普段考えずに日々生活しているかを感じ、考え直すきっかけをいただきました。何からするべきか、まだ全然思いついていないのですが、勉強することから始めたいと思います。きっかけは会社に案内をいただいたので参加でしたが、自分の人生の中で大きな気持ちの変化を感じました。ここだけで終わらず、これから繋げていきたいと、ほんとうに思いました。参加させていただきありがとうございました。

BCU2018 応募者情報

※ファンリテーター・高校生含む

所属	人数
高校生	14
大学生／専門学生	169
大学院生	13
社会人	30
その他	2
総計	228

性別	人数
女性	37
男性	191
総計	228

出身地	人数
今治市	21
愛媛県（今治市を除く）	15
愛媛県外	185
海外／その他	7
総計	228

都道府県	人数
東京都	64
愛媛県	35
大阪府	18
神奈川県	16
広島県	12
京都府	10
千葉県	9
愛知県	7
新潟県	4
兵庫県	4
島根県	4
福岡県	4
埼玉県	3
三重県	3
石川県	3
徳島県	3
高知県	3
熊本県	3
福島県	2
茨城県	2
奈良県	2
岡山県	2
長崎県	2
宮崎県	2
鹿児島県	2
北海道	1
宮城県	1
岐阜県	1
山梨県	1
滋賀県	1
山口県	1
大分県	1
佐賀県	1
海外	1
総計	228

※住所別

BCU2018 参加者情報

※ファンリテーター・高校生含む

所属	人数
高校生	10
大学生	30
社会人	15
総計	55

性別	人数
女性	20
男性	35
総計	55

出身地	人数
今治市	16
愛媛県（今治市を除く）	5
愛媛県外	31
海外／その他	3
総計	55

都道府県	人数
愛媛県	23
東京都	12
神奈川県	4
高知県	3
大阪府	2
広島県	2
島根県	2
福島県	1
千葉県	1
愛知県	1
岐阜県	1
石川県	1
宮崎県	1
熊本県	1
総計	55

※住所別

所属名	人数
高知大学	3
愛媛大学	2
松山大学	2
島根大学	2
慶應義塾大学	2
今治北高等学校	2
Temple University Japan Campus	1
福島県立医科大学	1
国際基督教大学	1
早稲田大学	1
中央大学	1
法政大学	1
立教大学	1
日本大学	1
東京大学	1
千葉大学	1
愛知学院大学	1
岐阜大学	1
金沢星稜大学	1
京都大学	1
大阪大学	1
尾道市立大学	1
福山大学	1
宮崎大学	1
鹿児島大学	1
今治東中等教育学校	1
今治西高等学校	1
今治南高等学校	1
今治北高等学校大三島分校	1
伯方高等学校	1
今治明德高等学校	1
今治明德高等学校矢田分校	1
今治精華高等学校	1
浅川造船株式会社	1
Ascenders 株式会社	1
IKEUCHI ORGANIC 株式会社	1
株式会社伊予銀行	1
渦潮電機株式会社	1
旅館さわか	1
Sil's Vous Plate 洋菓子店	1
株式会社デイリー・インフォメーション	1
東京海上日動火災保険株式会社	1
株式会社ドーム	1
株式会社 PR TIMES	1
リアラン株式会社	1
株式会社ロコフル	1
ワークスアプリケーションズ	1
株式会社ワン デイエゴ丸	1
総計	55

BCU2018 OB 学生（サポースティングスタッフ）

木村 美里 / 1期生
 佐藤 葉名香 / 1期生
 高尾 明香里 / 1期生

孕石 修一 / 1期生
 光長 裕紀 / 1期生
 森實 健太 / 1期生

織田 健太郎 / 2期生
 木原 理沙 / 2期生
 志田 祐一朗 / 2期生

メディア掲載情報

**8月17～19日に
バリチャレ開催**
今治で実行委員会

サッカーFC今治の岡田武史オーナーを学長に若者のチャレンジ精神を育むワークショップ「バリチャレ」ユニバーシティ(BCU)「実行委員会」の2018年度第1回総会が7日、今治市役所であった。18年度は参加を50人程度に絞り、市内で8月17～19日に開催することなどを決めた。BCUは16年度から毎年

バリチャレユニバーシティの2018年度開催日程を決めた実行委員の会合。17日午後、今治市役所

夏に市内で開いている、実行委員は地元経済団体や金融

機関などの11人で組織。総会では、対象を例年通り県内外の高校生(市内のみ)から若手社会人とするが人数は17年度実績の半数程度とし、スポーツの力によるふるさと活性化策などを話し合うことにした。

岡田学長は「今後はFC今治の事業として運営する考えもある。(岡山理科大学)獣医学部生と協賛し、化学反応を起こせたら」とあいさつした。応募はBCU専用ホームページで受け付けている。(山岡雄大)

5月8日愛媛新聞

- 5月 7日 テレビ愛媛 みんなのニュースえひめ (総会)
- 5月 8日 愛媛新聞 8月17～19日にバリチャレ開催
- 5月 9日 CATV ICKニュース(総会)
- 8月18日 NHKニュース おはよう日本(BCU)
- 8月18日 愛媛新聞「若者よ リスクを取れ」今治でサバイバルWS始まる
- 8月20日 愛媛新聞 今治活性化 磨いた案披露「バリチャレ」若者50人が最終発表会
- 8月20日 CATV ICKニュース(BCU)

「若者よ リスクを取れ」今治でサバイバルWS始まる

サッカーFC今治の岡田武史オーナーを学長に地域、日本、世界をリードする若者を養成するサバイバルワークショップ(WS)「バリチャレ」ユニバーシティ2018が17日、今治市片原町1丁目の市交流施設「はーばり」を基地に始まった。冒険心あふれる県内外の大学生ら約50人が「スポーツを通じてにぎわい創出を命題に19日まで空前絶後、抱腹絶倒のアイデアを求め、夜通しの議論などで知力体力の限界に挑む。

市や商工団体などによる実行委員会主催で3回目、学生らは8班に分かれ、市内の若手社会人や前回卒業生1人ずつのファシリテーター(進行役)とともに各異有識者の激手アドバイスに耐え、プランを極限まで磨き、最終日の一般公開ステージで事業化に向け、派手なアクションも取り入れプレゼンテーションする。

17日の入学式では岡田学長が「変化の激しい時代を生きていく社会課題を解決するには、リスクを取りチャレンジする勇気が必要。ぜひ身に付けて帰って」と激励。学生らは瀬戸内しまなみ海道をサイクリングしてイメージを膨らませ、FC今治のスタジアムで集団力を高め、出口の見えない激論の渦へかき回された。(山岡雄大)

スタジアムで学生らにFC今治の集客策を伝授する岡田武史オーナー(右) 17日午後、今治市高橋ふれあいの丘

8月18日愛媛新聞

今治活性化 磨いた案披露
「バリチャレ」若者50人が最終発表会

2泊3日で考案した今治活性化プランを披露するバリチャレユニバーシティ2018の参加者。19日午後、今治市片原町1丁目

サッカーFC今治の岡田武史オーナーを学長に今治の活性化プランを練るワークショップ「バリチャレ」ユニバーシティ2018の最終発表会が19日、今治市片原町1丁目の市交流施設「はーばり」であった。2泊3日の日程で参加した県内外の若者約50人が、市民ら約140人に自慢の計画を披露した。

3回目の今年は、スポーツを通じた活力あるまちづくりがテーマで、8班が発表。通行客が減少した商店街のシャッターを活用した囲碁や将棋をはじめ、仮想現実(AR)などの最新技術を使ったサバイバルゲームやトランプアスリートの指導を受けられる施設整備案などをプレゼンテーションした。

18日には有識者を前にした中間発表会があり、激論の強烈的な多め出しに意気消沈した参加者もいたが、残り1日でアイデアをブラッシュアップ。今治市大鳥の亀老山で、学校や港を発着点にお風呂付き気球でFC今治の試合観戦などを提供するプランを思いついた班の法政大4年北本優菜さん(21)は「一時は心がスタボロになったけど、発言する勇氣と考える力が身に付いた」と話した。(山岡雄大)

8月20日愛媛新聞

協賛企業一覧



IKEUCHI ORGANIC



株式会社 しまなみ



たちばな海運有限会社



伊豫運送株式会社 越智今治農業協同組合 株式会社ワシ屋グループ

株式会社越智工業所 株式会社テイクワン 株式会社ハラプレックス
唐子歯科医院 データクリエイト・マークス 有限会社ビーワイド
和風レストラン 笹 株式会社デコイチ 廣川海事・行政書士事務所
社会福祉法人杉の子会 株式会社ハマダ工業
株式会社マイタウン今治新聞社 株式会社つぼ吉

後 援

今治商店街協同組合 公益社団法人 今治地方観光協会
公益社団法人 今治法人会 愛媛大学社会共創学部

広 報 協 力

株式会社キタイエ 特定非営利活動法人 鴻鵠塾 一般社団法人 四国若者会議 Beyond School